



申7号

「南武線ワンマン運転実施」施策の一旦中止を 求める申し入れ交渉実施

1. 「南武線ワンマン運転の実施」施策については一旦中止とすること。

会社回答：グループ経営ビジョン「変革2027」を踏まえ、安全の確保をベースとして、業務を高度化し人口減少や技術の進展等の社会環境の急速な変化に対応しながら、お客さまが求める輸送サービスを提供していくため、確立した技術等を導入し、線区・区間を限定せずワンマン運転の実施に向けて検討・準備を進めているところであり、これまで相模線、鶴見線でワンマン運転を実施してきた。また、南武線のワンマン運転についても、2023年11月および2024年12月の提案において実施時期等を示し、必要な訓練・教育や設備の整備等を行っているところであり、中止する考えはない。なお、具体的な提起があれば、「労使間の取扱いに関する協約（令和6年10月1日締結）」に則り、真摯に議論していく考えに変わりはない。

(組) 申6号においての回答を受けてこの申し入れを行ったが、中止しないとなった理由は。

(会) 南武線においても線区・区間を限定せずワンマン運転の実施に向けて検討・準備を進めてきた。必要な訓練・教育や設備の整備等を行っているところであり**中止とはしない。**

(組) 安全の確保・施策の異動について明確な回答がされていないが。(会) 必要な準備、安全についても進めている。

(組) 議論が深まっていないのではないかと。(会) 話ができる部分はしている。

(組) 早めの提案はいただいているが具体的に話がされていない。それについては。

(会) これくらいの時期にした方が良く考えてしている。

(組) 1年経っても具体的に話がされていない。杜撰ではないか。(会) それについては**受け止める。**

(組) 労使で施策を進めるということは一致できるか。(会) 変わりはない。

(組) **成熟していないから前回と今回申し入れしている。施策に対する成熟はしていない。**そこは一致できるか。

(会) **受け止める。**成熟という言葉が良いかどうかはともかく。

(組) 申3号のときも回答がほぼなかった。タイミングももちろんあったと思うがそれについては。

(会) その時点で話せることはできた。

(組) スケジュール感的にはどういう風に考えているのか。(会) **スケジュール感は問題はない。**

(組) 会社都合によるスケジュール感が良いと思うが、**労使の部分が抜けているのではないかと。**

(会) **申し入れがあれば議論する。**全く考えていない訳ではない。交渉に応じる義務があるので。最大限できる回答はしている。

(組) 労使の議論としての成熟、スケジュール的には問題はないということで良いか。

(会) お答えできるものはしている。スケジュールも示している。

YOKOHAMA MAIL NEWS

JTSU JR EAST
TRANSPORT
SERVICE WORKERS
UNION
JR東日本輸送サービス労働組合
横浜地方本部



2025,02,20 No.037

- (組) 申し入れのタイミングについて、こちらが改善すべきことはあるか。
- (会) **支配介入になってしまうので回答できない。**
- (組) 12日に申し入れして13日に異動の懇諭がされているがそれについては。
- (会) 南武線においてワンマンで車掌がいなくなるという話はこれまでもしているの。
- (組) 12日に申し入れをしたが、団体交渉前に中止をしないという考えなのか。
- (会) 実施日に向けて進めている。これまでも社員とコミュニケーションをとってきた。必要な準備は進めている。
- (組) 申6号交渉で施策の異動であるから異動の規模を示すように求めたが対立している。12日に一旦中止の申し入れをしているが13日から懇諭を始めたことは**不誠実であると通告する。**我々は南武線ワンマン施策を否定するつもりはない。成熟していないので一旦中止を求めざるを得ない。
- (会) 申6号のときにも言ったが**信義誠実**に対応させていただいてる。
- (組) どうしたらこの溝を埋められるのか。信義誠実にやっていく部分は一致しているのに。
- (会) 前回の繰り返しになるが**疑義・質問があれば対応する。**
- (組) 我々が申し入れしないと対応しないのか。(会) やり方は様々。貴側の判断。
- (組) 議論の成熟度で問われているのは我々なのか。
- (会) 会社として成熟度については回答できないが、最大限させていただいている。貴側の主張は受け止める。
- (組) **仲間や地域の声をもとに交渉させていただいている。私たち個人の意見でやってる訳ではない。現場やお客さまの声を受け止めてもらいたい。**
- (会) 会社として受け止めてやっている。
- (組) 会社の企画・立案だけでやって良いのか。利用してるお客さま、そこで働く社員の声をもっと大事にすべき。仕事がつくなるから言ってるのではない。特に安全面での声が多い。**お客さまに「安心してご利用できます」とは言えない。現段階で労働組合として「南武線は安全です」とはとても言えない。それが成熟度なのではないのか。**
- (会) お客さまに安全・安心してご利用できるように準備している。
- (組) **そこが世間とずれている。**全体像が見えない。お客さま・社員にも説明できるものにしていくべきではないか。
- (会) 何もやっていない訳ではない。全てをお伝えはできていないが必要なことは伝えている。
- (組) 本質を知ることができない。「会社が安全って言うから安全だ」ではないですよね。そこを変えていくことが課題である。疑義があっても一社員では言えないと思う。それが**対等でできるのが労使議論ではないか。成熟度は深まっていない。だからこちらは中止を求めた。**でも中止にはしないということで良いか。
- (会) 会社として貴側と今後議論を尽くしていくというスタンスは変わらない。
- (組) **一旦中止にすることは対立。我々は労使議論に課題があるのではないか**と思うがどうか。
- (会) 貴側の主張は受け止める。**対立を求めているのではない。100に近づきたい。**議論を重ねて良いものにしていきたい。

一旦中止については対立で終了。労使議論を経て施策を進めていく事は一致するとしながらもその成熟度への認識は大きく乖離!